



## 学校教育への青少年赤十字の取り入れ方

学校（園）における青少年赤十字の取り入れ方については、定型はありません。それぞれの学校（園）の実情に合わせ、各分野での機能として、また特定の領域で位置付け活かされればよいのです。

- ①全校（園）においての参加。  
児童会・生徒会の組織＝青少年赤十字の組織、幼稚園全体など。
- ②学年、学級または年長単位の参加。
- ③クラブ活動の一つとしての参加。

### 青少年赤十字赤十字の特長

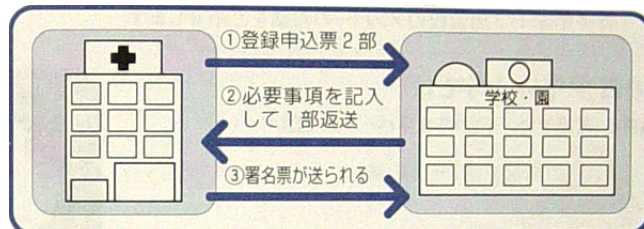
- 青少年赤十字は、個人の参加ではなく、幼・小・中・高等学校としての参加で、組織の場がこれらの中に位置付けられます。
- これを採用する学校（園）は、その学校（園）の教育方針に基づいてこれを自主的に採用し、実情に即して計画し、実践することになります。
- 日本赤十字社は、青少年赤十字の活動のために資料提供（教師用指導情報、メンバー用機関紙など）、赤十字の全国的、国際的組織活用の便宜供与や学校間連携（リーダーシップ・トレーニング・センターなど）のお世話などをしますが、指示や通達によって学校内の組織を拘束することはありません。
- 青少年赤十字の提供するどの資料を採り、どの連絡に応じて活動するかは、あくまでも学校（園）側に選択の自由があります。

## 青少年赤十字の加盟登録

### なぜ登録するのか

- この登録は毎学年はじめに更新します。それは、
- ①学年が変わり卒業や入学等による変化がある。
  - ②教師の異動がある。

これらの理由による、連絡や資料の配布など事務的な必要と、毎学年はじめに青少年赤十字のメンバーとしての自覚を新たにする機会をもとうとする理由からです。



### 青少年赤十字に加盟すると

- ①メンバー用に「機関紙（ポスター型、健康・安全、奉仕、国際理解・親善をテーマとしたもの）」を無料でお送りします。
- ②新しく加盟された学校（園）には、青少年赤十字旗を、また、児童・生徒にはバッジ（またはワッペン）を贈呈します。
- ③研修の機会として、メンバーにはリーダー養成のための研修会「リーダーシップ・トレーニング・センター」が、また指導者には「指導者研修会」などがありますので、その都度ご案内いたします。
- ④青少年赤十字に関する各種資料、ビデオテープなどを日赤支部に用意してありますので、それらをご活用いただけます。

### 青少年赤十字のねらい

赤十字の精神は、誰の心にもある「苦しんでいる人を見たら何とかしなくてはならない」、「みんな同じ人間同士」という気持ちを、生命の尊さという人類共通の価値と連帯感に発展させ、社会生活のあらゆる分野で奉仕（ボランティア・サービス）という具体的な行動として実践に現わすことです。

このような心を青少年が自覚し、日常生活に生かすことが、青少年の人格形成に役立ち、ひいては世界の平和、人類の福祉に貢献できる人を育てることにもなります。

幼い頃から、「共に生きる」社会に積極的に参加してゆける将来のための種蒔きをする、これが青少年赤十字のねらいです。

### 青少年赤十字の活動

青少年赤十字は、メンバーの豊かな人間性や自己教育力を育成するため具体的な三つの実践目標を掲げています。なお、この目標は世界共通のものです。

- ①健康・安全 人の命と健康を大切にし、互いの人格、個性を尊重できる人間。
- ②奉仕 地域社会や人のためにつくす責任を自覚し、実行できる人間。
- ③国際理解・親善 国際的に通用する人間。

また、ボランティア・サービスを創意工夫のもとで実践していくために、青少年赤十字では具体的な態度目標として、「気づき、考え、実行する」を掲げています。

### その他

毎年、希望する加盟校の中から1校を研究推進校に指定しており、この指定を受けて研究調査することに要する経費の一部を助成します。

（研究調査費 年額 10万円 2年間など）

### お問い合わせ先 日本赤十字社香川県支部

〒760-0017 高松市番町1-10-35 香川県社会福祉総合センター内  
TEL. 087(861)4618